

あさぎり町：農業・畜産業の力をフル活用した農村地域脱炭素モデル

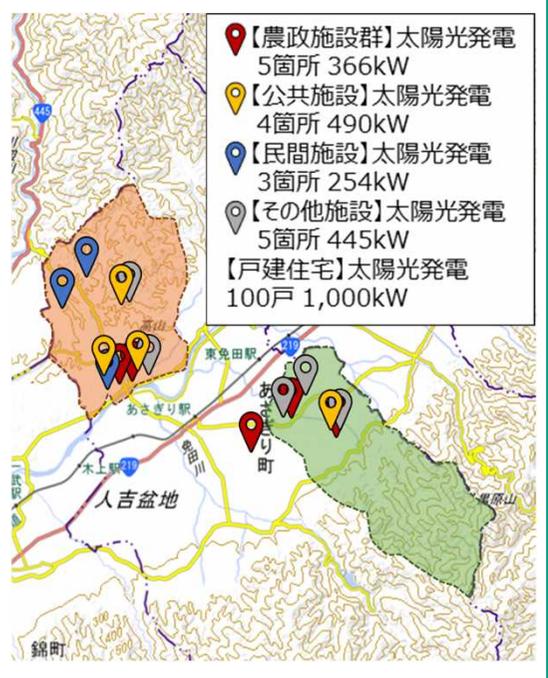
脱炭素先行地域の対象： **岡原地区、深田地区、農業・畜産業を政策的に支える農政施設群**
 主なエネルギー需要家： 戸建住宅1,437戸、民間施設13施設、公共施設9施設(農政施設含む)、その他5施設
 共同提案者： 株式会社あさぎりエナジー、あさぎり町有機センター、あさぎり地域づくり協同組合、株式会社あさぎり商社、株式会社熊本銀行、株式会社肥後銀行、一般社団法人熊本環境革新支援センター

取組の全体像

農業の中心地である岡原地区、畜産業の中心地である深田地区において、農家・畜産農家に太陽光発電・蓄電池を導入するとともに、蓄電池付ソーラーシェアリング、小水力発電を導入し、蓄電池の遠隔制御技術を活用したエネルギーマネジメントを行い、脱炭素化を図る。農業・畜産業の力をフル活用し、林業由来の原料も活用した**バイオ炭入り牛糞堆肥**を製造して有機農業を推進するとともに、太陽光発電の導入による**牛舎等の遮熱効果**を創出し、**畜産業の生産性向上**を図る。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 農政施設群や農家・畜産農家約100世帯、**牛舎屋、教育福祉施設**等の屋根に太陽光発電(2,572kW)・蓄電池を導入
- ② 耕作放棄地を活用してソーラーシェアリング・蓄電池(2,000kW)を導入するとともに、農業用水路等に**小水力発電**(500kW)を導入
- ③ クラウド型**蓄電池遠隔制御システム**を導入し、**自家消費最大化**を図るとともに、**市場調達価格**を踏まえた最適運用により、事業性を確保しつつ、地域内へ再エネ電力を供給



2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 地場産業の木炭製造業と連携して、筍生産の竹林や林業由来の原料を組み合わせて**バイオ炭**を製造し、家畜敷料(おが粉)と牛糞と混合して**堆肥化・散布**するとともに、**CO2貯留によるJ-クレジット化**(50ha、126t-CO2/年)で収益の多様化を図る

3. 取組により期待される主な効果

- ① 農業・畜産業が連携し、バイオ炭入り牛糞堆肥を活用した**有機農業**を推進するとともに、太陽光発電を活用して耕作放棄地での**畜産用飼料**の育成や牛舎における猛暑の**遮熱効果**を創出し、脱炭素と地域産業の**生産性向上**を図る
- ② 町独自で進めている環境学習の取組と連携し、**脱炭素人材**の育成と**地場産業の担い手確保**を図る

4. 主な取組のスケジュール

2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
農政施設群や農家・畜産農家、商業施設、牛舎屋への太陽光発電・クラウド型遠隔制御蓄電池の設置				
ソーラーシェアリング・蓄電池の設置				
小水力発電設備の設置				
バイオ炭によるCO2貯留				